イオゲルマＳ
メンテナンスマニュアル

お客様各位 （同梱　or　別途送付資料） ―― 2

ご使用の際お守りいただきたい６つのお願い　（納品時） ―― 4

水流異常の症状と対処法 ―― 5

温浴水が上浴槽に上がらない ―― 5

温浴水があふれる（上浴槽） ―― 6

水もれがある ―― 6

配管内の空気抜き及び異物の排出方法 ―― 6

湯温異常・温度表示異常の症状と対処法 ―― 7

湯温が上がらない・表示パネルに異常高温が表示される ―― 7

湯温表示があがらない ―― 7

その他の異常症状と対処法 ―― 8

電源スイッチを入れても本体が作動しない。 ―― 8

上浴槽吹き出し口から、熱いお湯が出る。 ―― 8

お湯がにごる。匂いがする。 ―― 8

温浴した後、手がしびれる。 ―― 8

下の浴槽から、大きな泡が出る。 ―― 8

各部の名称と働き ―― 9

背面パネルのはずし方 ― 11

サーマルリセット位置とリセット方法 ― 12

リレーの交換方法 ― 13

定期的お手入れとメンテナンス用品の使用方法 ― 14

故障？～修理の流れ ― 16

お問合せカルテ ― 17

お客様各位

この度はゲルマニウム温浴器“イオゲルマ S”をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。ご使用の前に取扱説明書及び本書を必ずお読み下さい。

イオゲルマS-K６は、快適にご利用いただくための機能性はもとより、お客様からいただきましたお声を反映し、いくつもの改良を加え完成しました製品です。
本温浴器を安全かつ効果的にご使用いただくため、ご使用の前には下記事項を必ずお読みいただき、運転・点検・整備などを十分理解された上でご使用下さるようお願い致します。
保障期間内といえども、正しい取扱いをされず故障が発生した場合、修理費用、部品代金等の、費用をご負担いただく場合があります。

【故障の原因】
イオゲルマSはポンプやヒーターに異物が入らないようにフィルターの素材や目／水流／水量／ヒーターの電源が入るタイミング等を計算し、安全にご使用いただけるよう設計されております。間違った方法や状態（ポンプに空気が入った状態や、ヒーター内に異物が残った状態）で使用されますと、ポンプが損傷したり、ヒーターが焼け付き、場合によっては大きな事故につながる場合があります。
ご使用の前には、必ず取扱説明書をお読みいただき正しくご使用いただきますよう宜しくお願いします。

温浴器の残留水に関して

イオゲルマ Sは、ご使用の際のトラブルを未然に防ぐために、出荷前に 36 時間の動作確認運転及び、水漏れ検査を行い出荷致しております。

水漏れ検査の後はエアーにて可能な限り排水しておりますが、機構上完全排水はできず、配管内部に水漏れ検査の際の水が若干残っていますが問題はございませんのでどうぞご了承下さい。
ご使用の前には必ず、５分間程度の水洗い運転をし、いったん排水をしてからご使用下さい。

水流口の接着に関して

イオゲルマ Sは、本体浴槽（FRP 素材）と水流口の６角形のネジ（PP 素材）の異質な素材の接合部から水漏れを防ぐために、数種の接着剤を混合し特殊な接着剤を使用しています。

本接着剤の特性としまして、乾かす際の気温、湿度等、その時の環境で色がかわったりする場合があります。

十分に気をつけて作業をしておりますが、お届けした際、水流口に接着面にムラや汚れのように見えるかも知れませんが、不良ではございませんのでご了承下さい。

本体の傷に関して

イオゲルマSは、製造段階で、ＦＲＰを型に装着する際に異物が混入し小さな傷が発生あることがあります。
ご了承下さい。

【ご使用の際お守りいただきたい６つのお願い】

お願い１

アースの設置を必ず行ってください。

本体には、漏電ブレーカーが取付けられていますが、漏電ブレーカーは、アースの設置を行わないと漏電ブレーカーは機能しない状態になり、感電する恐れがあり、大変危険です。

アースの設置は必ず行って下さい。

お願い２

フィルターなしで運転しないで下さい。

フィルターをつけず運転すると、ごみ等が**ポンプやヒーター**内に詰まり故障や事故の原因になりますので、必ず指定のフィルターを取り付けてから運転して下さい。

お願い３

汚れたままのフィルターで運転しないで下さい。

汚れたフィルターを使用しますと、適度な温浴水を吸い上げる事が出来ず、ポンプに負担がかかり、水流が滞るためヒーターも損傷する場合がありますので、フィルターは２週間に１回を目途に交換下さい。

お願い４

業務終了後は、温浴器配管内を洗浄し、洗浄後は排水下さい。

配管内には、汗や、異物が混入している場合があります。温浴水を放置していますと雑菌が繁殖し、ポンプやヒーターが損傷する場合がありますので、業務終了後は必ず除菌液で温浴器の配管内を洗浄除菌し、温浴水を排水下さい。

お願い５

１ヶ月に１～２回は弊社指定の洗浄液で、配管内の洗浄を行って下さい。

日々の洗浄だけでは取れにくい、体内から排泄された脂質や知らない間に入った髪の毛や糸くず等の異物がたまり、ポンプやヒーターが損傷する場合がありまので、**月１～２回(60～120 分)は弊社指定の洗浄液で、配管内の洗浄を必ず行って下さい。**弊社指定以外の洗浄液洗浄剤をご使用され発生した不具合については弊社では責任を負いかねます。

お願い６

弊社指定の有機ゲルマニウム及び水道水の以外は使用しないで下さい。

有機ゲルマニウム及び水道水以外のものを浴槽に入れるとそれらに含まれている鉄分を含め、フィルターの目詰まりやヒーターの腐食などが起こる場合があります。

鉱物等の無機物等を入れ温浴しますと、摩擦で粉砕された小さな粒子が、**ポンプ**のプロペラ、**ヒーター**の接合部分を削る場合があり、故障や事故の原因となる事があります。

例：入浴剤・浄水器で作った水・無機ゲルマニウム・他鉱物等

※保障期間内といえども、正しい取扱いをされず故障が発生した場合、修理費用、部品代金等の、費用をご負担いただく場合があります。

水流異常の症状と対処法

温浴水が上の浴槽に上がらない場合、ヒーターに安全装置がついてはいますが、空焚きになりヒーターにも損傷を与える可能性がありますので、空気抜きを行い正しい取り扱い方法でご使用下さい。

● 温浴水が上浴槽に上がらない

原因．フィルターが汚れたままになって装着しているため、温浴水を吸い上げない。

対処： フィルターをはずして、電源を入れてください。循環すればフィルターが汚れています。

対処： フィルターをつけて循環しない場合、新しいフィルターと交換下さい。

原因．ポンプに空気もしくは異物が混入している

理由： 空気抜きが出来ていないままフィルターをセットし、フィルターの空気をポンプが吸い込んで起こります。

理由： 本体を横向きにした場合に、配管内の空気がポンプに入り場合があります。

理由： フィルターを装着していないときに、下浴槽からポンプに異物が入った場合に起こります。

理由 フィルターを、タワシ等で洗った場合、フィルターの繊維が入り起こります。

症状： 電源を入れるとグォングォンと洗濯機をまわしているような音がします。

対処： 再度フィルターの空気抜行ってからを再度動かしてください。

対処： 水道水から、ホースを上浴槽のオーバーフローロにいれ、強い水流を流してください。

対処： 水道水から、ホースを下浴槽の温浴水給水口にいれ、強い水流を流してください。

※ ホースがない場合バスポンプ（お風呂のお湯を洗濯機に入れるポンプ）で代用できます。

原因．ポンプに老廃物（ヘドロ）が付着している（ヒーターにも老廃物が付着しています。）

理由 洗浄不足により、老廃物がポンプのプロペラに付着している。

対処 洗浄液で、よく洗浄下さい。

※ ポンプは細い間隙を磁気の力で動かしています。

※ その間隙に老廃物が付着しますと、ポンプは稼動しなくなります。

それでも問題が解消しない場合は、ポンプの交換が必要になります。

原因．弊社指定以外のフィルターをしている

理由１ 指定のフィルターを使用しない場合、ポンプに付加がかかります。

対処１ 指定のフィルターをご使用ください。

※イオゲルマＳのフィルターは、小さな汚れも吸着するよう、２層構造フィルターを使用しています。

※交換の目安は１週間～２週間をめやすに交換してください。

温浴水が上の浴槽に上がらない場合、ヒーターに安全装置がついていますが、空焚きになりヒーターにも損傷を与える可能性がありますので、空気抜きを行い正しい取り付け方法で誤使用下さい。

洗浄不足による故障・空焚きを度々した場合による故障による部品交換、修理は高額な費用がかかります。取扱い説明及び本マニュアルをよくお読みいただきお取扱いただきますようよろしくお願いします。

●　温浴水があふれる（上浴槽）

原因：　オーバーフローロから異物が混入し詰まり、下に流れる水流を妨げています。

対処：　水道水から、ホースを下浴槽の温浴水噴出し口にいれ、強い水流を流してください。

●　水もれがある

原　因：空焚き・洗浄不足による老廃物の付着等でヒーターが損傷により接合部が損傷しています。

対　処：支給本体をメーカーに送り、ヒーター交換をして下さい。

（納品時ぬれている場合がありますが、出荷前の水漏れ検査の水が残っているものです。）

配管内の空気抜きの方法　・　異物の排出方法

●フィルター内の空気抜きの方法　取扱説明書の、「フィルターをセットする。」を参照下さい。

●配管内やポンプ内の空気抜きの方法

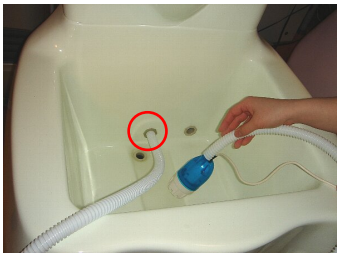
1. 温浴水が入っている状態で、電源の ON・OFF（ON と OFF の間は5秒程度）を2～5回行って下さい。

2. 強制循環で行う方法

循環①

温浴水が上に上がってこないとき。 配管内に空気が入っているとき。 配管内に異物を吸い込んだときは下図のようにホースの先を、入れて強制循環してください。

下浴槽



⇒　ポンプ　⇒　ヒーター　⇒

上浴槽

循環②

上浴槽オーバーフローロから下浴槽に、また下浴槽から上浴槽オーバーフローロに強制循環させたいとき。

下浴槽

⇒　　配管　　⇒

上浴槽

バスポンプ（バスポンプはホームセンター等で別途ご購入下さい。）もしくは水道からホースの先を各口に入れて空気抜きを行ってください。　　※洗浄も同じ方法で行うことが出来ます。

湯温異常・温度表示異常の症状と対処法

★ヒーターや配管に水流がない場合は、安全のためヒーターの電源が入りませんので、水流があるか事前に確認下さい。

★ヒーターに水流があっても、運転中に異物が入り、ヒーターに水流が足りなくなった場合、事故やヒーターの損傷未然に防ぐため、自動安全装置が働き異常安全装置が働き、ヒーターの電源が切れる場合があります。

【対応確認】

温浴器の背面のサーマルランプを確認してください。
点灯している場合　自動復帰サーマルが作動しています。
対処の後にサーマルランプを確認してください。ランプが消えていれば正常に戻っています。）

空焚き、洗浄不足による老廃物の付着ヒーターの安全装置（サーマル）が働いています。

● 湯温が上がらない・表示パネルに異常高温が表示される。

原　因：　**空焚き、異物混入のために水流異常が起こり、安全装置（サーマル）が働きヒーター電源がきれています。**

対　処：　フィルターやポンプに入っている空気抜きと強制水流で異物をとり除いてください。
次にヒーター安全装置（サーマル）のリセットを行ってください。

● 温度表示があがらない。

原　因：　**リレーが消耗している可能性があります。**

対　処：　操作パネルの温度表示の左にあるランプがついているか確認ください。
ランプがついていない場合、ヒーター異常が考えられます。
ランプがついている場合、リレー（消耗品）の異常が考えられます。
リレーを交換ください。
※交換方法は、リレーの交換方法をお読みください。
※リレーは、消耗品ですので保障対象外となります。

2．温浴器背面の安全装置作動ランプを確認下さい。
①点灯している場合：自動的に安全装置が作動しています。
対処法：運転したまま冷たい水を浴槽にたしてください。水温が一定温度まで下がると自動的にリセットがされます。
点灯消えれば正常に戻っています
※冷水を入れる前に浴槽のお湯を少し捨てておくと早く水温が下がります。

3．それでも安全装置作動ランプが消えない場合
二重安全装置（手動復帰）も作動しています。
サーマルボタン（安全装置作動）ランプを押して解除する必要があります。

4．サーマル位置とリセット方法（ページ 12）を参照下さい。

上記の対処法でも正常に作動しない場合は、ヒーター・ポンプなどでのなんらかの不具合の発生が考えられます。

代理店・メーカーに速やかにご連絡ください。

その他の異常症状と対処法

● 電源スイッチを入れても本体が作動しない。

原因： 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認して下さい。
対処： 電源プラグがコンセントに差し込んでください。
原因： ブレーカーが OFF になっています
対処： 背面のパネルをはずし、配線ＢＯＸの中にあるブレーカーの電源を ON にしてください。

● 上浴槽吹き出し口から、熱いお湯が出る。

湯度を上げる場合にヒーターで温めたお湯が上浴槽の中央部から出て、一時的に熱くなる場合があります。設定温度になるとヒーターは切れますのでご安心ください。

● お湯がにごる。匂いがする。

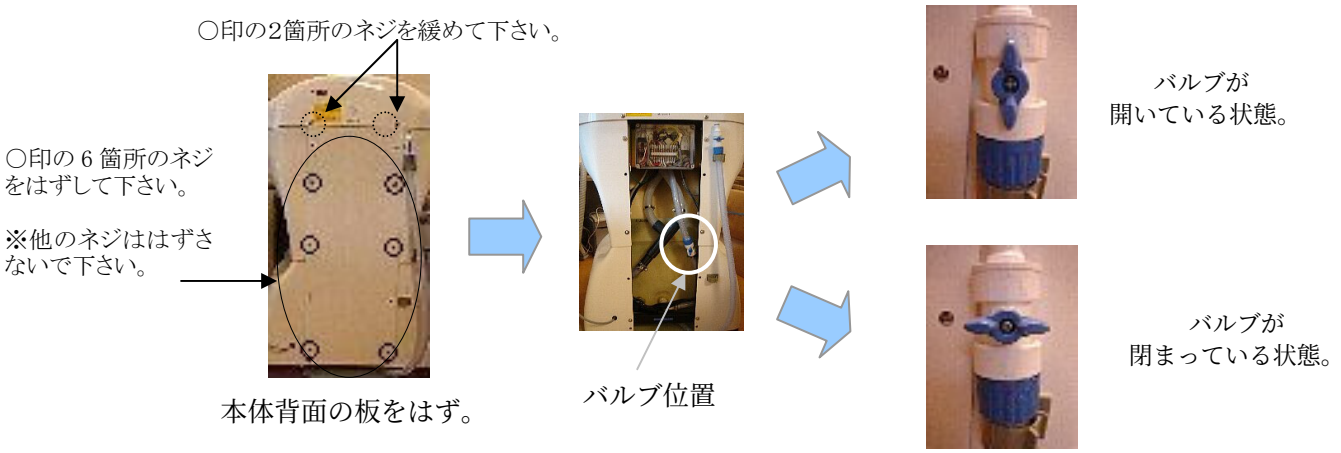
理　由： 温浴されると、お客様の汗や両廃物で濁ったり、匂いが出ます。
対　処： 濁った場合は、 **「凝集液」** ・においがある場合は **「消臭殺菌液」** を都度ご使用下さい。
対　処： 使用中フィルターが汚れている可能性があります。フィルターを交換ください。
※フィルターは２重構造になっております。洗って外見がきれいでも、内面が目詰まりしている場合がありますので、10 日～２週間目処に新しいフィルターと交換下さい。

● 温浴した後、手がしびれる。

・椅子の高さを調整下さい。
上腕内側（方から肘に掛けての内側）には、太い神経や血管が通っています。温浴の時に、椅子の高さが低い場合、神経や血管を圧迫し、手先がしびれる場合があります。
上腕が圧迫されないように、椅子の高さを調整して下さい。

● 下の浴槽から、大きな泡が出る。

理　由： オーバーフロー口から温浴水が下浴槽に落ちる際に空気と混ざり合います。
対　処： 背面の板をはずし、ホースについているコックを、ほんの少し横方向に回してください。
注　意： 下に落ちる水より上がってくる流量が多ければ、浴槽があふれる場合がありますので、上浴槽の下に落ちる流量を未ながら行ってください。

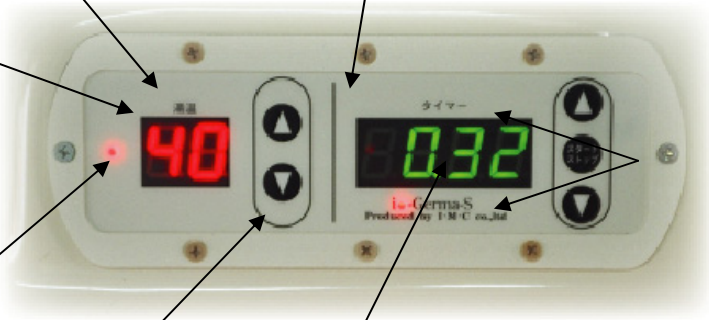


各部の名称と働き

湯温設定
▲湯温を上げます。
▼湯温を下げます。

タイマー表示
温浴時間を表示します。

湯温表示
浴槽の湯温を表示します。



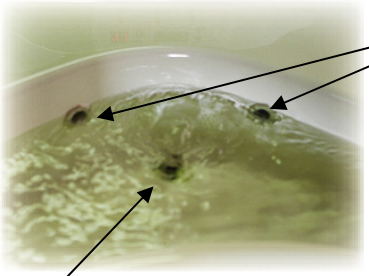
タイマー設定
▲温浴時間を上げます
▼温浴時間を下げます

加熱ランプ
加熱中、点灯します。

タイマーランプ

タイマー　スタート／ストップ　ボタン

オーバーフロー口
上浴槽から温浴水を下部浴槽へ送る循環口



操作パネル
湯温やタイマーなどの操作を行います。

上部浴槽
手をつける浴槽。

上浴槽噴出し口
下浴槽から温浴水を上部浴槽へ送る循環口

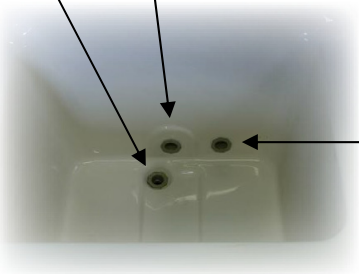
下浴槽噴出し口
温まったお湯がでます。

下部浴槽
足をつける浴槽。

排水口
浴槽内の温浴水を排水します。

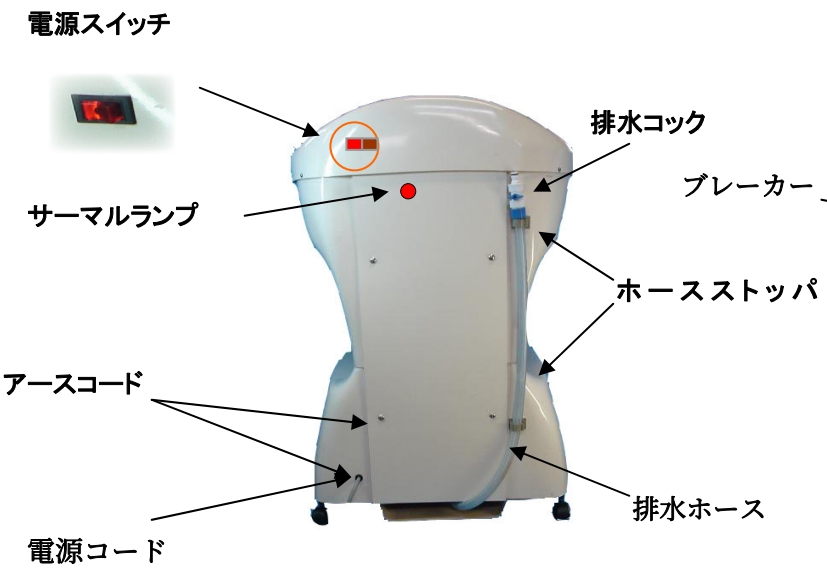
吸水口
浴槽内の温浴水を吸い込みます。

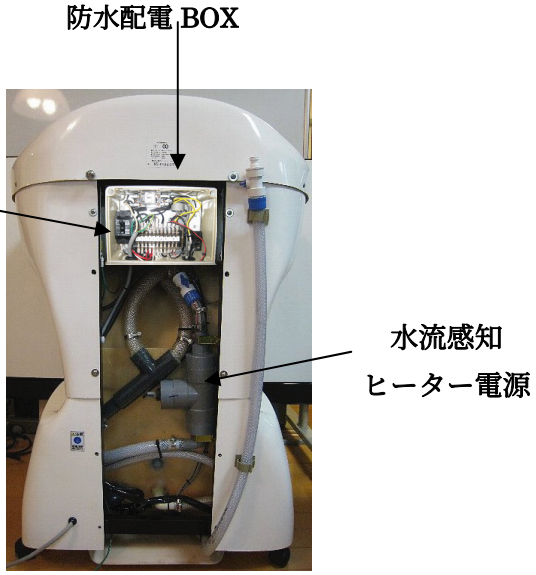
キャスター
移動用キャスター。
（前面のみストッパー付き）



下浴槽吹き出し口
上浴槽からの温浴水が出ます。

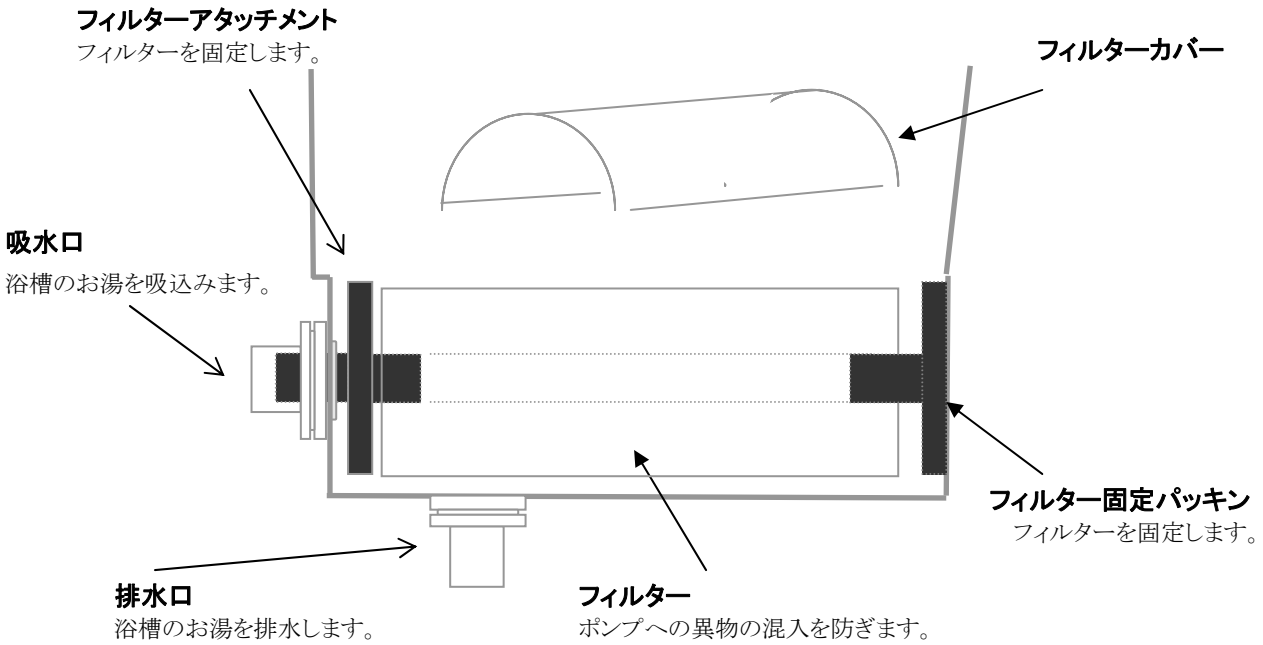
各部の名称と働き（つづき）





背面の板をはずしたところ

下浴槽フィルター部

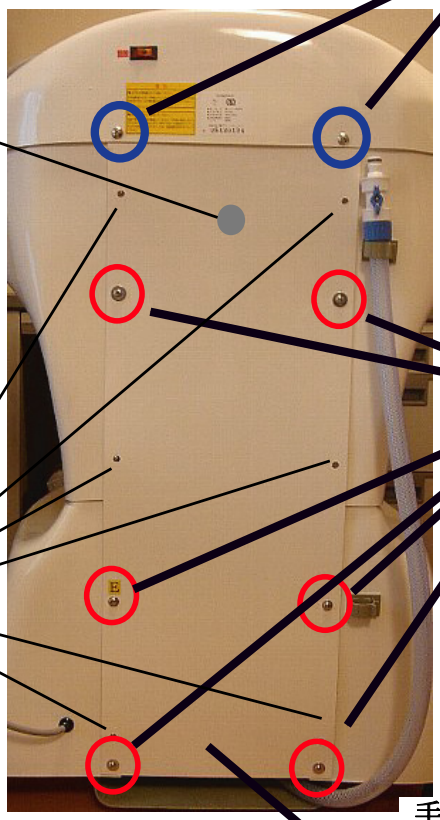


背面パネルのはずし方

サーマルボタン確認孔

サーマルランプが「●」赤く点灯している場合サーマルが働いています。

底面よりサーマルリセット解除ボタンを押してください。



手順①
上の左右のネジを緩めて下さい。

※絶対にこのネジを取り外さないで下さい。
※取り外した場合組立が出来なくなります。

手順②
６個のネジをはずして下さい。

※ネジ山が出ていない決して取り外さないようにしてください。
※取り外した場合組立が出来なくなります。

手順③
背面パネルを下に下げてはずしてください。

※サーマルランプが点灯するよくある原因・対処と予防

ヒーター内が異常加熱した時に起こります。原因として下記の事が考えられます。

１．原　　因：老廃物・皮脂・異物がヒーターに付着している。
　　対処法と予防：配管内の洗浄を行い、日ごろの洗浄を及び定期的な洗浄を行ってください。

２．原　　因：フィルターの空気が混入し、空焚き状態になっている。
　　対処法と予防：フィルター内の空気抜きを行って下さい。
　　ポンプにも空気が入っている場合があります。水道ホース等でポンプ内の空気も強制的に出してください。

２．原　　因：フィルターよごれている場合。
　　対処法と予防：フィルターを交換下さい。（フィルターの交換時期は１～２週間です。）

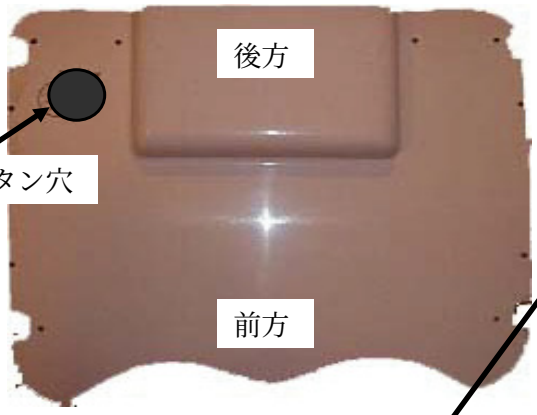
サーマルリセット位置とリセット方法

サーマルリセット位置とリセット方法は２つの方法がありますので、まず１の方法を試みて、それが出来ない場合は２の方法をおためし下さい。

イオゲルマＳ底面

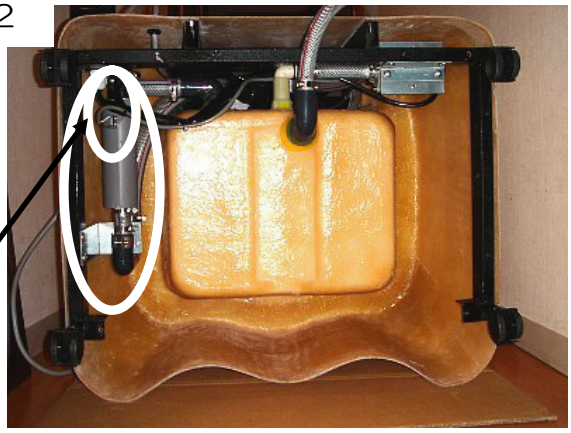
本体の』底面からみたところ

図１



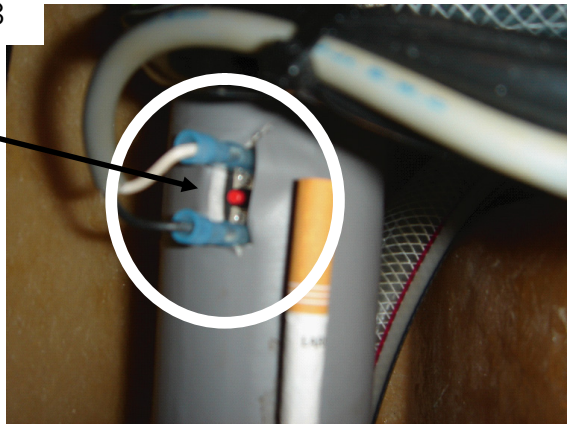
本体の』底面をはずしたところ

図２



サーマルボタン

図３



リセット解除方法１（サーマルボタン穴がある場合）

図１のサーマルボタン穴の指もしくは、ボールペンの後ろで、サーマルボタンを押してください。
サーマルボタンは、図３の赤いボタンです。

リセット解除方法２（サーマルボタン穴がない場合）

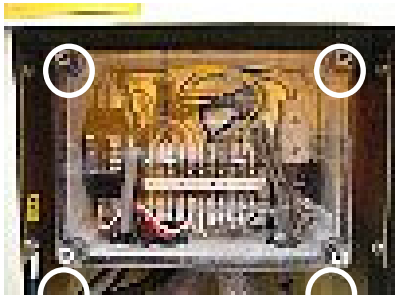
１　底面のネジをはずして、カバーをはずします。
２　底面から見て左下にグレーの柔らかいヒーターカバーがあります。
３　手前下側に、にコードをつないでいる突起があります。
４　突起と突起の間に直径１㎜程度のボタンがあります。（爪楊枝の頭ぐらいの赤い突起）
５．その赤い特記を指で押すか鉛筆の背の部分のような細いもので押してください。
５　突起間は、狭いので人差し指のリセットボタンをつめで押す。

※本体を横にしてリセット解除した場合、ポンプに空気が残っていますので空気抜きをして下さい。

リレーの交換方法

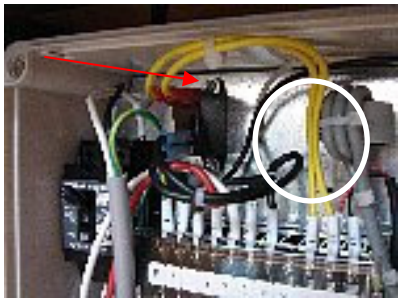
配線ＢＯＸ

①本体背面の右図６箇所のネジをとり、背面カバーをはずして下さい。上に防水配線ＢＯＸが現れます。
注意：他のネジは決してはずさないで下さい。



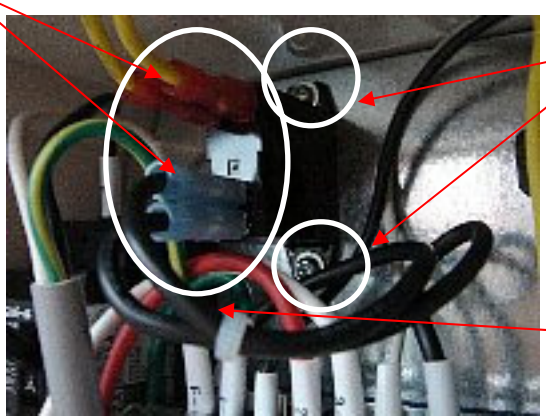
配線ＢＯＸ

②背面カバーを取りますと、制御ＢＯＸがありますので、４箇所のネジをコイン等で回し、カバーをとってください。



リレー

③リレーの上に赤色が２本・下に青色が２本付いていますので、根本をまっすぐに引っ張りぬいてください。



④上のビスをはずし、下のビスを緩めて、リレーを上手前にあげ、リレーを本体からずし新しいリレーと交換してください。

⑤はずしたビスで再度取り付けコードを元と同じ様に刺し込んでください。

※配線の取り外しは、③の部分だけです。

※部品は、変更する場合があります。

定期的お手入れとメンテナンス用品の使用方法

【温浴水の交換】

- 毎日交換してください。

【有機ゲルマニウムの交換】

- 1回5g（大さじいっぱい分）を浴槽に入れ、10～15人の使用を目安に水の入れ替えと同時に行ってください。

【除菌液】

- 業務終了後、キャップ約半分を、温浴器に投入し、20～30 分お湯を循環ください。ぬめりをつきにくくします。
- 特徴

  主成分は幅広い除菌スペクトルを示し、レジオネラ属菌に対して優れた除菌効果を発揮します。又、本製品は「殺菌剤組成及び殺菌剤の製造法」での特許取得製品（特許）をベースとして、より安全性を追求し環境問題を考慮した商品で、浴槽水の除菌（対レジオネラ属菌）・浴槽のスライム防止に有効です。

【消臭殺菌液の使用方法】

- 特徴

  二酸化塩素が主成分で、二酸化塩素が持つ特性としての消臭作用を利用致します。
- 使用時期の目安

  お客様の温浴の前に、キャップ半分程度を入れて下さい。
  温浴の前に「念のために」消臭殺菌します。」と声をかけながら入れるとお客様のリピートにつながります。

※ 「除菌液」・「消臭殺菌液」・「洗浄液」は市販で販売されているものではなく業務用のものです。
※ 上記のメンテナンス商品は、予告なく変更される場合があります。
※ 当社指定の「洗浄液」を使用しないで、故障した場合は保障対象外となり、有償修理となりますのでご注意下さい。

【配管洗浄】

- バスポンプ（バスポンプはホームセンター等で別途ご購入下さい。）で、配管内を強制的に循環させ、配管内の汚れを洗い流してください。 使用方法は空気抜きの方法を参考にしてください。

【洗浄液の使用方法】 2ℓ

- 洗浄の目安

  1ケ月に、1～2回を目処に洗浄ください。ポンプ・配管内部にたまったたんぱく質や、髪の毛をきれいに溶かし洗浄します。
- 使用方法

  ① 浴槽内部に水をいれた状態で、原液 500cc を浴槽に直接注ぎそのまま 40 分～1 時間循環させ洗浄します。
  ② 洗浄完了後、原液を排水完全に排水します。
  ③ キレイな水（又はお湯）を浴槽に入れ、10 分以上循環させ、本体配管内のすすぎをします。（洗浄液は原液ですので、2回以上すすぐ事をお勧めします。）

● ご注意

1.窓を開け、換気をよくしてご使用ください。
2.液が飛び散らないようにして、食器等にふれないようにしてください。
3.ゴム手袋を着用し、皮膚についたり目に入ったりしないようにしてください。
4.用途以外には使用しないでください。
5.他の洗剤や酸と併用・混合すると、ガスが発生する場合があります。
6.幼児の手の届くところに置かないでください。
7.万一飲み込んだ場合は、(水・ミルク・生卵)を飲ませる。皮膚についたり、目に入ったりした場合は、
水で十分洗う。以上の応急処置を行い、医師に相談してください。
8.使用後はフタをかたく閉め、冷暗所に保管してください。
※洗浄液による洗浄を行わない場合、水流配管内に汚れやたんぱく質がたまりヒーターやポンプが故障します。

【凝集液の使用方法】 250cc

● 特徴

皮脂・汗などで温浴液に流れた脂肪を粒子の単位で凝集して、
フィルターに回収し、温浴液の濁りを抑える目的で使用します。

● 使用時期の目安

お湯がにごってきた場合にご使用ください。

● 使用方法

約 4 リットルに対し、1cc。
22 リットルの水量であれば約 5cc を温浴器に入れてください。
約 20 分程度運転いただきますと濁りがなくなってきます。
透き通ってこない場合は、投入量を少しずつ増やしてください。
※ 初回より凝集液を沢山いれすぎますと、泡が出てきます場合がありますのでご注意下さい。

【フィルター】

● 毎日、業務が終わったらフィルターを取り外し、水洗いし乾燥させてください。
※水洗いのとき、スポンジや、たわし等で擦らないでください。
● 10 日～14 日で新しいフィルターと交換してください。
● 2 本を 1 日ずつ交換し、使用したフィルター天日干しをされると、殺菌効果があります。

****

※ メンテナンス用品は必ず当社指定のものをご使用下さい。指定外用品を使用されて、不具合が発生するケースがかなり有ります。その場合当社は責任を負いかねます。このケースでの修理や検査にかかる諸費用（往復の送料を含む）は全てお客様のご負担でお願いすることになります。

※ 温浴水は、毎日排水し使用時は新しいものと入れ替えご使用下さい。・

****

本製品は業務用機械です。

リレー・ヒータ・ポンプは消耗品です。一定の期間で交換が必要になります。

寿命を延ばすためにも、取扱い方法をよく読み、きっちりとメンテナンスを行ってください。

故障？　～　修理の流れ

１．メンテナンスマニュアルをご一読下さい。

ほとんどが、使用方法の間違い、洗浄不足で等で問題が起こっています。
再度、メンテナンスマニュアルをご一読いただきご確認下さい。

２．「お問合せカルテ」をご購入店もしくは代理店に FAX 下さい。

症状、経緯を見て工場の技術者が判断します。

３．修理が必要と判断した場合、お見積書及び修理依頼書を FAX します。

４．修理依頼書を Re　FAX 下さい。

５．弊社まで商品を送ってください。

送料は送り主でご負担下さい。
基盤異常等の場合は、着払いにてお送りください。
梱包資材が必要な場合、別途費用が必要になります。
商品の代替機はございませんのでご了承下さい。

６．修理が完了しましたら、指定先に商品を返送します。

７．修理費請求書を郵送いたします。一週間以内にお振込み下さい。

対応の流れ

本体ご使用者　←→　ご購入者　←→　メーカー　←→　工場

基本的にお客様への対応は、弊社から商品を仕入、再販される代理店様のご担当者に対応をお願いいたします。

再販される、代理店様は、弊社までお問合せカルテを FAX いただき、店舗様の問題点と解決方法を共有し顧客対応できますようによろしくお願いします。

お問合せカルテ v3

株式会社アイ・エム・シーFAX:06-4861-4612

年　月　日

お問合せカルテは、より早くお客様の問題を解決するためのものです。必ずお問合せカルテに機械の状態を出来るだけ詳しくご記入下さい。

ご購入代理店	電話	ご購入日	年　月　日
設置店舗名	担当者	ご購入台数	
設置店舗住所 〒			
連 絡 先　電話	FAX	携 帯	

商 品 名	シリアル番号

質問	以下の □ にレを記載下さい。
【ポンプ音】	□ 安定の音が続いている。　□ 「グォングォン」とリズムある音がする。
【フィルターの使用期間】	□ _____日間使用　※現在のフィルターの使用期間をお書き下さい。
【フィルター交換周期】	□ _____日間で交換　□新品と交換　□洗浄乾燥させて交換　□交換していない
【日々の配管洗浄は？】	□都度行っている。　□毎日行っている。　□ _____日に一度位
【月々の配管洗浄は？】	□ _____ケ月に _____回
【洗浄剤は使用していますか】	□いいえ　□はい　（品名　　）
【有機ゲルマニウム以外に浴槽で使用しているものはありますか】	□いいえ　□はい　（品名　　）
【お問合せ内容】	□温度表示に関して　□湯温に関して　□水流に関して　□水漏れに関して　□他

症　状（症状とお客様が行った対処等を出来るだけ詳しくお書き下さい。）

【何時】 □電源を入れた後　□本体稼動中　□他	【工場所見】
【何が】 □水流　□温度　□表示パネル　□他	
【どのように】	
	検査施設　サコムメカトロ